

【1つの内容項目で作成する例】

小学校第6学年 道徳科 学習構想案

日 時 令和2年〇月〇日 (〇) 第〇校時

場 所 6年1組教室

指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	自分の中にある誠実な心 (内容項目A(2)正直, 誠実)	
ねらいと教材	(1)ねらい 手品師の葛藤や決断について話し合うことを通して、自分の心の中にある誠実さを確かめながら、自分や他者に対して誠実でいようとする心情を育てる。 (2)教材名 手品師 出典:「〇〇(〇〇社)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	問題に直面した際の言動やその判断の根拠について、誠実さという点から多面的・多角的に考えようとしている。	自分の中にある誠実さについて振り返り、これまでの自身の言動と重ね合わせながら考えようとしている。
目指す児童の姿		
自分の中にある誠実さを確かめながら、自分や他者に対して誠実でいようとする児童		
主題に迫る学習課題 (本時)	本主題で働かせる見方・考え方	
判断に迷ったとき、どんな心をもって、選ぶとよいか。	誠実さについて多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながら、自己の生き方についての考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導, 各教科等や体験活動等との関連的指導		
特別活動 (児童会活動) 道徳科		
「縦割班活動」 ○ 縦割班活動において、下級生の気持ちに寄り添いながら、適切な行動をとる。 「代表委員会」 ○ 自分のことだけでなく、学校全体の利益につながることを考え、学校生活に係る諸問題の解決を図る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「心に通じた『どうぞ』のひとつ」 B(7)親切・思いやり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 「手品師」(本時) A(2)正直・誠実 主題名 自分の中にある誠実な心 手品師の葛藤や決断について話し合うことを通して、自分の利害関係にとらわれず、自分や他者に対して誠実に生きようとする心情を育てる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「お父さんの笑顔」 (平成28年熊本地震関連教材「つなぐ～熊本明日へ～」) C(14)勤労・公共の精神 </div>	総合的な学習の時間 「将来の夢について考えよう」 ○ 地域で働く人々の思いや願いを調べ、働く意義について考える。 ○ 自分は将来どのような仕事につき、何を大切にしていきたいのかを考える。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）		
<p>本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目 A(2)「誠実に、明るいいで生活すること」を基にしたものである。</p> <p>人生は選択の連続であり、私たちは、人との関わりや仕事をする上で、日々様々な選択を迫られている。その際に、損得勘定のみで判断したり、自分の意に反して周囲に合わせたりして行動してしまうと、結果として自分に害は及ばなくとも、そのことによって他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責が生じることがある。自分の言動に誇りや自信がもてるのは、自分の心にある真面目さや真心を基に行動したときである。仕事や周囲の人々と関わりにおいて、自分自身に誠実であろうとすることは、自分に誇りをもち、自分への自信につながるものである。</p>		
本主題における系統		
<p>小学校第3学年及び第4学年 内容項目A(2) (正直, 誠実) 過ちは素直に改め、正直に明るいいで生活すること。</p> <p>教材名「ひびが入った水そう」 主題名「正直は気持ちがいい」</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年 内容項目A(2) (正直, 誠実) 誠実に、明るいいで生活すること。</p> <p>教材名「手品師」 主題名「自分の中にある誠実な心」</p>	<p>中学校 内容項目A(1) (自主, 自律, 自由と責任) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。</p> <p>教材名「父のひとこと」 主題名「責任をもつ」</p>
児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）		
<p>本学級の児童数(30名)</p> <p>■主題に関する意識の状況</p> <p>(1) 委員活動では進んで取り組んでいますか。「進んでしている」…30人 「していない」…0人</p> <p>(2) (1)で「進んで取り組んでいる」と回答した人に聞きます。どんなことを考えながら、取り組んでいますか。</p> <p>（自分の気持ちに近いもの3つを選択）</p> <p>ア 仕事を早く終わらせて遊びたい(19人／30人)</p> <p>イ 先生に褒められる(叱られる)(10人／30人)</p> <p>ウ 6年生の他のみんなも頑張っているから自分も頑張らないといけない(20人／30人)</p> <p>エ みんなの役に立つことができうれしい(16人／30人)</p> <p>オ みんなの喜んでいる姿を見たい(15人／30人)</p> <p>カ 自分のためにもなる(自分の成長につながる)(10／30人)</p> <p>■考察</p> <p>本学級の児童は、明るく素直であり、お互いに協力したり助け合ったりすることができる。また、下級生のお世話を進んで行い、委員会活動の仕事にも進んで取り組む姿が見られ、最高学年としての自覚が育ちつつある。</p> <p>しかし、それらの行動が、誠実さという道徳的価値に基づいたものであることを自覚して行動している児童はまだ少なく、周囲の行動に合わせて行動している場合もある。上記意識調査においても、自分の中にある誠実さや損得勘定なしに行動する真心に基づいた考えを意図して設定したエ～カを選んでいる児童の方が、ア、ウの外的要因に基づいた考えとして設定したア、ウよりやや少ないという結果であった。</p> <p>児童には、本学習に向かう中で、自分自身に誠実であろうとし、誠実な心をもって行動することが、自分に誇りをもち、周囲の人々の役に立つ喜びや自分への自信につながるものであることに気付かせたい。自分の心の中にある誠実さを確かめながら、自分の正しいと思うことを信念をもって選択できるようになってほしい。</p>		
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）		
<p>教材「手品師」は、大劇場に立つことを夢見ていた手品師が、「さびしそうにしていた男の子との約束」と「夢見ていた大劇場に立てるというチャンス」との間で葛藤する話である。手品師の葛藤と決断について多面的・多角的に考えることを通して、誠実さの意義について考えることができる教材である。</p> <p>本教材を活用した授業においては、登場人物の葛藤場面を中心発問として考えることを通して、児童の多様な価値観を引き出しながら、誠実さの意義等について考えるとともに、誠実でありたいと思う児童の心情を育てていきたい。</p>		

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 授業の導入場面では、委員会活動における意識調査の結果等を提示することで、児童が本時の主題に関わる問題意識をもてるようにしたい。その上で教材に出会わせていきたい。
- 授業の終末では、他教科等での学習の様子をスライドで提示することで、自分の中にある誠実な心を確認したり、今後の生活における心の持ち方を考えたりする時間を十分確保したい。

【発問の工夫】(指導方法の工夫)

- 児童の価値観の多様性に対応し、様々な視点から児童の考えを引き出すことができるように、教材の葛藤場面に焦点を当てて中心発問を設定したい。その際、どちらか一方の考えに偏ったり、自身の考えに固執する児童がいたりすることが予想されるが、「誠実な生き方とは、自分の心にある真面目さや真心を基に行動すること。」という本主題に迫ることを児童が考えられるように、児童の考えの根拠の部分に焦点を当て、考えさせていきたい。児童の発言を整理する中で、どちらを選んだにしても、選択理由に児童自身の真面目さや真心が共通点としてあることに気付かせていきたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

手品師の葛藤や決断について話し合うことを通して、自分の心の中にある誠実さを確かめながら、自分や他者に対して誠実でいようとする心情を育てる。

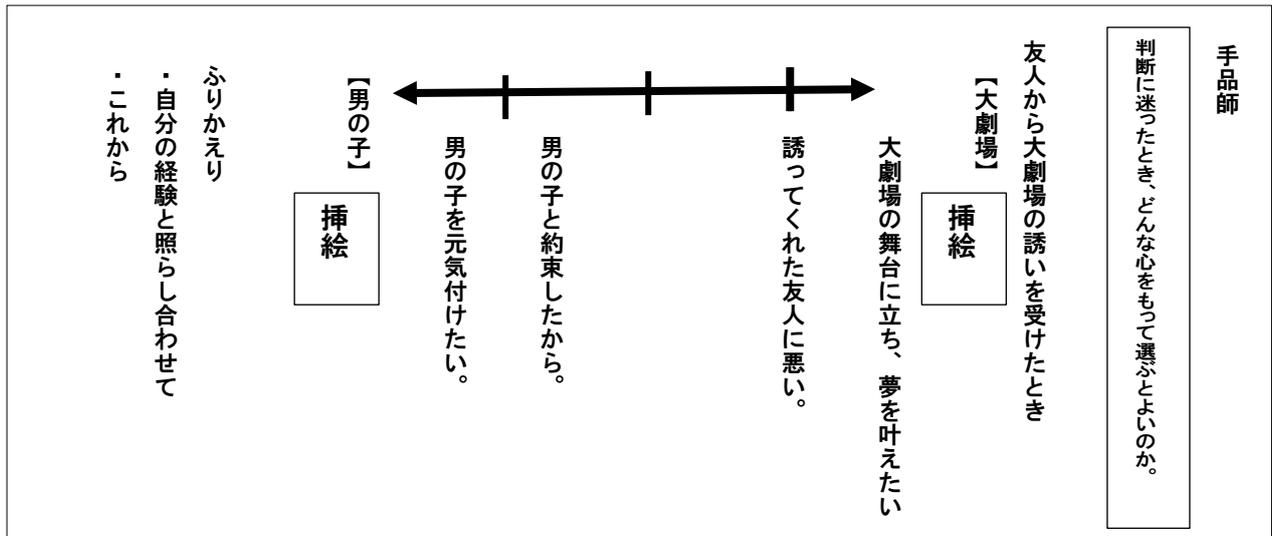
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>①二者択一の場面における児童の考えから、学習課題を設定する。 「運動会の仕事」と「委員会活動の仕事」と重なったとき、どんな理由で一方を選び、関係する友達や担当の先生に説明しますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【学習課題】 判断に迷ったとき、どんな心をもって選ぶとよいのか。</p> </div> <p>②教材「手品師」の概要を把握する。 ◇「手品師」という仕事は、人を笑顔にする夢のある仕事だなあ。 ◇「手品師」は、何に迷ったのだろう。</p>	<p>○打算的な考え、他者を優先した考え、自身の信念等を基にした考えなど、様々な視点から選んだ理由を出させることで、自身の経験に基づく様々な判断規準を想起させ、本時の学習課題につなげる。</p> <p>○学習課題の提示後に、教材「手品師」と出会わせ、「手品師」という職業や登場人物の葛藤場面について簡単に紹介することで、教材の中に描かれている問題に気付かせ、中心発問につなげていきたい。</p>
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>①手品師は、友人からの誘いを聞いて、どのようなことを考えたか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>【男の子】 ←————→ 【大劇場】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: left;"> <p>◇男の子を元氣付けたい。</p> <p>◇男の子と約束したから。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>⇄</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>◇誘ってくれた友人に悪い。</p> <p>◇大劇場の舞台上に立ち、夢をかなえたい。</p> </div> </div> </div> <p>②どちらにも共通する大切な心とは何だろう。 ◇人を幸せにしたいと思う心 ◇人が喜ぶ姿をみたいと思う心</p>	<p>(個に応じた支援)</p> <p>○男の子との約束を守ることだけでなく、絶え間ない努力によって夢を叶えることにも誠実さがあることを踏まえて発問を行う。</p> <p>○自分や友達の考えの立ち位置が視覚的に分かるように、スケール図にネームプレートを貼るようにする。</p> <p>○多面的・多角的に考えられるように、児童の発言内容を受けて次の発問を行う。</p> <p>【男の子】を選んだ児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子との約束より大劇場のステージに立つことを選ぶことはいけないことか。 ・自分の夢をかなえようとするのは、いけないことか。 ・自分を犠牲にする必要があるのか。 <p>【大劇場】を選んだ児童に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子との約束を、自分の夢のために破ってよいのか。 ・男の子を悲しませてもよいのか。 <p>○どちらを選んだにしても、児童自身の真面目さや真心（他者を思う心）が共通点としてあることに気付かせていきたい。</p>
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①手品師のような心が自分の心の中にもあるか、考えよう。 ◇これまでよく考えずに友達に合わせて行動することが多かったけど、判断に迷ったときは、どちらがより人を大事にしたことなのかをしっかりと考えていきたい。 ◇手品師は、男の子との約束を守ったことで、チャンスを逃してしまったかもしれないけれど、自分で後悔をしない生き方をしていたと思う。自分も周りの人の気持ちや思いをしっかりと考えながら、後悔しない選択をしていきたい。</p>	<p>○委員会活動や学校行事等で働いている児童の姿をスライドで見せ、自分の心の中にある誠実さ（学校全体、友達、先生、低学年の児童、地域の人、家族等を大切にしたい心）を想起できるようにする。</p>

【評価の視点1】 問題に直面した際の言動やその判断の根拠について、誠実さという点から多面的・多角的に考えようとしている。
(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 自分の中にある誠実さについて振り返り、これまでの自身の言動と重ね合わせながら考えようとしている。
(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

本時終末の振り返りの場面【電子黒板】

振り返りの場面において，自分の心の中にある誠実さを具体的な場面をもとに想起できるように，委員会活動や学校行事等の児童の写真のスライドで提示。

